

生涯学習 だより

第78号

2022年1月1日 発行

P1. 年初に立てよう
一年の計！これからの学び

P2. 自主グループ紹介「基礎」
Café ミネルヴァの案内

P3. 「学びを楽しむ・学びを支える」
かぶらぎみなこ さん

P4. 「ふちゅう東西南北」
府中の森公園を探索



《今月の作品》

『大國魂神社』
絵画サークル「基礎」
の提供作品から

年初に立てよう 一年の計！～これからの学び～

2020年・2021年はコロナ禍で生活スタイルが激変し、人と人との接触や集まりを控えるようになりました。今年も状況が良くなるとは言いきれませんが、学びのすすめ方を本格的に考える時にしましょう。

新たな年を迎えるにあたって 文化生涯学習課

新年あけましておめでとうございます。令和4年の新春をお健やかに迎えの事とお喜び申し上げます。

昨年は、コロナ禍ではありましたが、東京2020オリンピック・パラリンピック大会が、選手や大会関係者をはじめ、多くの方々の努力により、開催されました。本市では、ホストタウンとして卓球オーストリア代表を迎え、また、自転車競技ロードレースの会場となるなど、市政運営方針のテーマのひとつである「世界とつながる 平和と人権」を実践する良い機会となりました。

また、11月11日には、第52回関東甲信越静社会教育研究大会東京大会が、府中の森芸術劇場で開催されました。大会テーマは、「明日に向け 学びの輪を広げよう!! ～地域の魅力 グローバル社会で再発見～」で、東京大学の牧野篤教授による基調講演が行われたほか、トークセッションでは、多方面で活躍されている社会教育委員による幅広い議論が行われ、生涯学習について理解を深める1日となりました。(右の記事参照)

大会の様子はオンラインにて1月31日(月)まで配信しておりますので、よろしければ、ご覧ください。

新しい年も、誰もが参加しやすい学びの機会を充実させ、「学び返し」のまち府中の実現に向け、生涯学習を推進してまいります。

年頭にあたり、皆様にとって幸多く、人生がより豊かな一年となりますようお祈り申し上げます。

社会教育研究大会に参加して 府中市生涯学習ボランティア「悠学の会」 田頭隆徳

基調講演は、東京大学大学院教育学研究科教授の牧野篤氏。演題は「みんながつくるく社会>へ～人生100年、AI、そしてポストコロナ時代の社会教育～」で、60分の予定でしたが熱が入り70分ほどとなりました。

「最近赤ちゃんが笑わなくなっている」というショッキングな話から始まり、親ガチャ、毒親、褒められるのがデフォルト、コミュニティと学び、「学び」が社会の基盤、新しい生活スタイル、「ことば」がものをいう、「学び」は「楽しさ」「愉しさ」に駆動される、など興味深いことが話され、<社会教育>・<学び>を考えるきっかけを与えてくれた講演でした。

全体的には、「これからは『社会教育の時代』であり、暮らしのすべての基盤に『学び』がある。学びというのは、学び合う、教え合うということ。学びというのは、楽しみでもある。そうしたところから新しい関係作りが始まって、関係が豊かになっていき、豊かな地域になっていく。そして子供達を含めた新しい世代に引き継がれていく」というようなことがお話しされました。



大会の様子(WEBより)